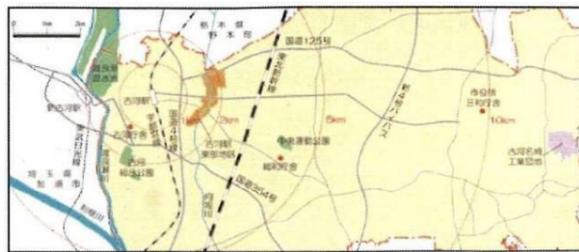


土地区画整理事業の概要

- ◆ 事業名称 古河駅東部土地区画整理事業
- ◆ 地区名 古河駅東部地区
- ◆ 施行者 古河市
- ◆ 地区面積 約 84.7ha
- ◆ 計画人口 約 6,000 人
(人口密度 70 人/ha)
- ◆ 総事業費 220 億 2200 万円
- ◆ 施行期間 平成 9 年度～令和 7 年度 (今後延伸予定)

古河駅東部地区の位置



本地区は古河市の西北にあり、栃木県野木町に接しています。JR 宇都宮線古河駅より東方に約 1.5 km の地点に位置しています。地区周辺は国道 4 号、国道 125 号沿いに商業施設が多く見られます。



安心して暮らせる、自然と生活が調和した新しいまちづくりを目指す



古河駅東部地区のまちづくり



令和5年6月撮影



古河駅東口駅前広場



西牛谷・辺見線



十間通り



古河市 都市建設部 区画整理課

〒306-0198
茨城県古河市仁連 2065 番地
TEL 0280-76-1511 (代) FAX 0280-77-1511



令和 6 年 10 月
茨城県古河市

古河駅東部地区では、安心して暮らせる、自然と生活が調和する新しいまちづくりを進めています。



まちづくりの方針

① 自然や歴史を大切に、都市環境に配慮したまち

- ◆ 向堀川や田園風景といった「地域の原風景」や「身近な自然」を感じられる、うるおいのある快適なまち

② 居住者にとって暮らしやすさが魅力のまち

- ◆ 地域が集い、交流し、新しい賑わいの場となる施設の立地を図る魅力的なまち
- ◆ 住民にとってもこれからも住み続けたいような安全で快適に暮らしやすいまち

③ 人の温もりが感じられるまち

- ◆ 古河駅東部地区での暮らしを通じて、人の温もりが感じられる豊かな人間関係づくりを目指していき、さらに地域コミュニティの醸成へとつながっていくような豊かな暮らしが実現するまち

④ 文化と快適空間を育むまち

- ◆ 都市拠点エリアとしてより身近に文化に触れ、親しむことのできるまち
- ◆ 向堀川や公園などの快適空間があり、それらが互いにネットワークしているまち

新たなまちづくりの柱となる拠点づくり

古河駅東部地区では、地区内に新たなまちづくりの拠点を形成し、河川や公園、緑道等で結ぶ「安心して暮らせる、自然と生活が調和する」まちづくりを目指します。

未来が広がる、賑わいの新拠点 複合商業施設

「カインズ」、「ヨークベニマル」、「スターバックス」及び「無印良品」が2024年（令和6年）10月より順次オープンし、新しい賑わい拠点が形成されます。



安全・安心を支え、働く環境を支える拠点 古河警察署・古河労働総合庁舎

古河労働総合庁舎は、2025年度（令和7年度）の開庁を目指して工事が進められています。また、古河警察署は当地区内に移転し、2026年度（令和8年度）の供用開始が予定されています。これらの両施設を含めた行政機能の拠点が形成されます。



地域を守る、安心の医療拠点 古河赤十字病院

古河赤十字病院を柱に少子高齢化社会に向けた医療施設の充実を図ります。



2010年(平成22年)5月
当地区 現在地に移転



区画整理による安全、安心なまちづくり

- ◆ 土地区画整理事業により、都市基盤の整った安全、安心のまちづくりを進めています。
- ◆ 地区内に移転が計画されている古河警察署を含め、ハローワーク及び労働基準監督署が入居する古河労働総合庁舎の開庁工事が進められており、便利で充実した行政サービスが提供されます。
- ◆ 地区内に立地する古河市立第三中学校をはじめ、周辺には小学校や高校もあり、教育環境も充実しています。
- ◆ 国道沿いには商業施設も多く立地し、地区内にも複合商業施設が立地するなど、買い物にも便利な環境です。
- ◆ 地区内には坂道がなく、平坦で、医療施設も整っています。周辺には保育所もあり、子どもから高齢者まで誰にでも優しいまちです。
- ◆ 約1.5haの近隣公園の整備を計画しており、近隣住民のレクリエーションや憩いの場として利用できる環境を提供します。



住宅のイメージ



幹線道路沿道のイメージ



向堀川沿いのイメージ



向堀川親水公園のイメージ

凡	例
	都市計画道路
	区画道路
	歩行者専用道路
	戸建住宅地区
	都市型住宅地区
	公益施設地区
	厚生施設
	都市運営施設
	公園・緑地
	河川・水路・調整池
	施行地区界

上辺見保育所

1:2,500